

オートデスク認定 Revit® Architecture ユーザー

キャリアに適したオートデスク認定資格を取得しましょう。



オートデスク認定資格は世界中の国で認知されるワールドワイドの資格で、将来のキャリア形成で成功を収めるために役立ちます。また、オートデスク認定資格は資格取得者だけでなく会社側にもメリットがあります。認定資格はスキルと知識の証明になり、認定資格保有者は、開発の効率化、生産性および信頼性の向上を図ることができます。

オートデスク認定資格を選択する理由

- ①世界中の最も多くの職場で通用できる資格
- ②より需要の高い専門知識を学び、レベルアップできる
- ③「いま」の知識とスキルレベルを正しく測り提示できる
- ④履歴書により高い価値を持つ資格を加えられる
- ⑤キャリアアップの競争相手より一歩確実に先行
- ⑥キャリアのより確かな成功をバックアップ



オートデスクは皆様が試験でより良い結果を残すために、試験に向けてご準備いただくことをお勧めしております。試験までに一定時間を費やしていただき、本試験準備ガイドのご確認、オートデスク認定トレーニングセンター (ATC) での試験対策講座やトレーニングの受講、認定試験対策本を活用しての学習をお勧めしております。実際のソフトウェアの操作に慣れていただくことも重要です。

オートデスク認定 Revit Architecture ユーザー

Revit Architecture ユーザー試験は、日本で初めて BIM に対応した日本語による試験です。大学進学、就職または自己のスキルアップなど、建設・設計業界のキャリアを積んでいく上で必要なスキルを習得していることを提示することができる試験です。

試験内容としては、選択形式と実技形式により、Revit Architecture の基本から応用までの知識を有し、効果的に使用できているかどうかを問う問題が 30 問出題されます。試験時間は 50 分となっております。

Revit Architecture ご使用経験と認定ユーザー試験

最新の Revit Architecture コース (または同等の内容) および 50 時間以上の使用経験がある方を推奨しています。

試験準備にあたり、製品の使用経験は受験のための重要なポイントです。製品使用に時間を割いていただき、習得したスキルを試験中に生かしてください。

ATC® における試験対策講座

オートデスク認定トレーニングセンター (ATC®) は幅広い分野のオートデスク製品のトレーニングをご提供するグローバルネットワークのプログラムです。

受験前に、ATC での試験対策講座や製品のトレーニング講座の受講をお勧めします。

ATC の所在地については、<http://www.myautodesk.jp/atc/centerlist.html> で確認できます。

オートデスクは、2D および 3D の設計スキルが求められる仕事に従事する方に強力なメリットを提供します。

今日の求人市場は競争激化しております。求職者が最良の職を得て成功を収めるには、あらゆる強みを駆使する必要があります。オートデスク認定資格を取得すれば、自身の生産性および価値を高めるだけでなく、専門知識を習得していることで、求人市場競争での優位性を得ることができます。

オートデスク認定資格で、未来を築く。 www.myautodesk.jp/certification

出題範囲

テーマ	目的
ユーザーインターフェースの操作と機能	リボン タブ、パネル プロパティ パレット プロジェクト ブラウザ ビューコントロールバー クイックアクセス ツールバー…等
基準面の作成	レベルの作成 通芯の作成
建築モデルの作成	壁、ドア、窓、屋根、床、階段、手すり、スロープ…等
システムファミリ/ ロード可能なファミリ	ファミリのロード、配置、編集 新しいタイプの作成
プロパティの確認と修正	ビュー プロパティ インスタンス プロパティ タイプ プロパティ
集計表/数量の作成	集計表の作成 算出の設定方法 合計値の設定
新しいビューの作成	平面図ビュー 立面図(展開図)ビュー カメラビュー 製図ビュー
外構	外構を作成
注釈	タグ 寸法 文字
オブジェクトの修正	修正ツール
修正ツール	シートの作成 タイトルブロック 改定表

受験までのステップ

1 受験のための準備

認定試験対策本や、オートデスク認定トレーニングセンター(ATC)での講習などをご活用ください。

2 試験のお申込み

お近くの試験会場に直接お申し込みください。

試験会場の所在地はこちら
www.myautodesk.jp/certification/venue.html

3 試験当日

本人確認書類をご持参してください。

※試験当日、本人確認書類をご提示できない場合、受験はできません。
(受験料金は返金いたしません)

**★本人確認書類
(顔写真付きの証明書に限ります)**

運転免許証、住民基本台帳、パスポート、社員証、学生証

※顔写真の汚れやキズ、化粧、服装、顔の表情等により本人確認が困難と判断した場合、その本人確認書類は無効となり、別の本人確認書類の提示が必要となります。

4 試験合格後

専用サイトより認定証明書をダウンロードすることができます。